



開成学園排球部 OB 会

会 報

会 員 名 簿

平成 18 年 9 月

1. 総務関係活動報告および活動予定

- 平成 17 年 4 月 第 23 回開成・麻布定期戦開催（当番校：麻布）
☆総合優勝☆ 開成（優勝奪還 通算 14 勝 9 敗）
5 月 年度幹事会開催
6 月 OB 総会開催（25 日）
8 月 会報発行
- 平成 18 年 4 月 第 24 回開成・麻布定期戦開催（当番校：開成）
☆総合優勝☆ 開成（連覇達成 通算 15 勝 9 敗）
5 月 年度幹事会開催
6 月 OB 総会開催（17 日）
8 月 会報・名簿発行予定
- 平成 19 年 4 月 第 25 回 開成・麻布定期戦開催（当番校：麻布）
5 月 年度幹事会開催予定
6 月 OB 総会開催予定
8 月 会報発行予定

* 定期戦報告 (文責 勝井)

今年の定期戦は開成にて行われました。昨年総合優勝を奪還したこともあり今年は連覇を賭けて麻布に挑みました。

中学戦は、昨年からチームのメンバーがほとんど変わっておらず、中学コーチの荒田の元で鍛えられてきたこともあり、昨年の麻布戦の頃に比べて著しく成長したチームの姿がそこにはありました。安定して高さのある両レフト、小さい体ながらもしっかりとトスを上げるセッター、中学生ながらも素早いクイック。1セット目は序盤リードしながらも、麻布が思い切ったサーブを打ってきて乱されたり、粘りのあるレシーブでつないでラリーを取られるなど麻布が追いつきました。しかし安定して決めるエース藤井の活躍により最後はしっかりとセットをとります。2セット目はそのままの勢いで危なげなくとり、ストレート勝ち、久しぶりに中学生が勝利を収めました。

超 OB 戦は昨年とほぼ変わりのないメンバーでした。普段は仕事に打ち込んでいる先輩方も、コートに入ればバレーボーラー、昔と同じ動きは思うようには出来ないものの、要所要所では老獪なテクニックで魅せていただきました。しかし麻布の超 OB は年齢層が若く、高さとパワーのあるプレーをしてくる方々が多かったのでねじ伏せられてしまったという印象でした。今年も敗れてはしまったものの、来年こそはという意気込みで早くも雪辱を誓っておられました。

今年の若手は 2 人を除いて大学でバレーを続けている面々、それに対して麻布は大学生がおらず全員社会人で構成されたチームでの対戦となりました。1セット目、2セット目ともに序盤からサーブで攻め、ブロックでとどめを指すという形で大量に得点を重ね、麻布に対して圧倒的な力の差を見せつけての完勝でした。現役の面々に対しても、OB としての面目が保てたと思われました。

高校戦は関東大会出場を目指して練習・春合宿を経てきたこともあり、気持ち・技術ともに完全に麻布を上回っていました。しかしまだまだチームが完成しているというところまでは至っておらず、こ

こから関東予選本番までどこまで詰めてチームを完成させられるかという印象でした。でも逆に最後の最後までまだまだ伸びしろを残しているので期待が持てるという印象もいただきました。結果は余裕のストレート勝ちで、見事に総合二連覇を果たしました。

その後は場所を移して懇親会、先程まではライバルとして勝利を賭けて戦いましたが、終了のホイッスルの後に戦いが終われば、そこには数10年来の良き友の姿がありました。OBは酒を飲みながら麻布・開成の同期同士現役時代の事を振り返りながら話に花を咲かせていたようです。そして話に一区切りついたところで両校エールの交換、今年の健闘を称え合い来年の再戦を誓いました。

参加OB (敬称略)

安井(s37) 山本・芥川(s38) 佐藤(s39) 結城・田中(s43) 片野(s44) 小川・桑田(s45) 関(s54) 増田(s59) 石岡・山口(h11) 松尾(h12) 勝井・大内(h14) 森・小林・久保田(h16) 浅川・荒田(h17) 梶原(h18)

2. 平成18年度役員人事(案)

役員

顧問	栗原 弘 先生	幹事長	勝井 政博 (H14 卒)
	奥山 茂樹 先生	副幹事長	増田 修久 (S59 卒)
名誉顧問	岩谷 昭史 先生		鈴木 大輔 (H6 卒)
	伊藤 清一 先生	会計幹事	熊谷 達範 (S54 卒)
相談役	吉村 功 (S26 卒)		関 茂和 (S54 卒)
	進藤 定夫 (S30 卒)	監査幹事	富部 直希 (S43 卒)
	石束 晃一 (S34 卒)	総務幹事	宮 利政 (H9 卒)
	安井 高明 (S37 卒)		大内 隆成 (H14 卒)
	山本 純一 (S38 卒)		森 禎三郎 (H16 卒)
	佐藤 勇 (S40 卒)		小林 祐樹 (H16 卒)
会長	結城 教仁 (S43 卒)		浅川 洋貴 (H17 卒)
会長代行	田中 俊一 (S43 卒)		梶原 啓 (H18 卒)
副会長	片野 昭秀 (S44 卒)	HP管理幹事	田沢 優 (H9 卒)
	矢澤 俊彦 (S48 卒)	OBチーム主将	荒田 雄人 (H17 卒)
	市村 幹司郎 (S50 卒)	高校コーチ	梶原 啓 (H18 卒)
	関 茂和 (S54 卒)		浅川 洋貴 (H17 卒)
			丹野 敬大 (H15 卒)
		中学コーチ	小川 信介 (H18 卒)
			荒田 雄人 (H17 卒)
			森 禎三郎 (H16 卒)

年度幹事

24年～27年	吉村 功 (26卒)	47年	松田 信彦	H1年	小木曾和宏
29年～30年	進藤 定夫 (30卒)	48年	矢澤 俊彦	H2年	和里田 聰
31年～32年	明渡 久和 (31卒)	49年	高塚 義弘	H4年	神波 泰夫
34年	石束 晃一	50年	松下 和正	H5年	古野 徳一
35年	平松 久和	51年	上野 雅資	H6年	鈴木 大輔

36年 三崎 哲郎
 37年 安井 高明
 38年 山本 純一
 39年 鈴木 康之
 40年 佐藤 勇
 41年 西山 祐二
 42年 片野 清昭
 43年 結城 教仁
 44年 片野 昭秀
 45年 小川 宗男
 46年 西村 隆

52年 老川 功明
 53年 野口 恭司
 54年 関 茂和
 55年 高浪 孝勝
 56年 鈴木 章弘
 58年 藤森 光章
 59年 清水 誠一
 60年 草野 昌行
 61年 津野 泰明
 62年 奈村 太久馬
 63年 和知 敏樹

H7年 依田 秀則
 H8年 鈴木 周
 H9年 宮 利政
 H10年 川原 希彦
 H11年 楓 淳一郎
 H12年 川原 尊徳
 H13年 丸崎 玲
 H14年 勝井 政博
 H15年 丹野 敬大
 H16年 森 禎三郎
 H17年 浅川 洋貴
 H18年 梶原 啓

3. 会計報告

平成17年度 収支報告書
 平成17年4月1日～平成18年3月31日

科目	金額	科目	金額
(支出の部)		(収入の部)	
春夏合宿援助費	¥120,000	前年度繰越金	¥2,859,443
現役強化費	¥60,000	年会費	¥576,000
通信費	¥82,240	受取利息	¥4,789
荒川区大会参加費	¥23,800	寄付金	¥100,000
麻布定期戦費	¥20,000		
文房具費	¥15,585		
事務費(アルバイト代)	¥12,000		
慶弔費	¥2,121		
幹事会費	¥7,130		
送金手数料	¥4,260		
OBチームユニフォーム代	¥112,140		
次年度繰越金	¥3,080,956		
合計	¥3,540,232	合計	¥3,540,232

会計幹事 熊谷 達範(昭和54年卒)
 関 茂和(昭和54年卒)
 監査 富部 直希(昭和43年卒)

平成18年度 予算
平成18年4月1日～平成19年3月31日

科目 (支出の部)	金額	科目 (収入の部)	金額
春夏合宿援助費	¥120,000	前年度繰越金	¥3,080,956
現役強化費	¥100,000	年会費	¥550,000
通信費	¥120,000	受取利息	¥5,000
荒川区大会参加費	¥30,000		
麻布定期戦費	¥20,000		
文房具費	¥20,000		
事務費(アルバイト代)	¥20,000		
慶弔費	¥10,000		
幹事会費	¥5,000		
名簿発行費	¥100,000		
送金手数料	¥4,000		
文房具費(振込依頼書作成費)	¥10,000		
次年度繰越金	¥3,076,956		
合計	¥3,635,956	合計	¥3,635,956

4. 開成クラブ戦績(文責:開成クラブ主将 小林祐樹)

今年度一年間開成クラブのキャプテンを務めさせていただいた、平成16年卒の小林祐樹です。今年度は、事情により荒川区の本大会に出場することは出来ず、オープン大会(六月、十一月の二回)のみの出場となりました。ただ、今年の四月二日に平成十八年度の荒川区二部の大会がありましたので、そちらもあわせて報告させていただきます。

・6月26日 第21回オープン大会

対親和クラブB 一回戦負け

この大会は、H11年卒の山口先輩や石岡先輩、大多賀先輩から、H16年卒の自分や森までの、幅広い学年でチームを組み、試合に臨みました。トーナメント形式で負ければそこでおしまいだったのですが、くじ運があまりよくなく、一回戦の相手は一部の親和クラブBでした。開成クラブも健闘したのですが、急造チームだったこともあり、自分たちのミスに相手につけ込まれ、ストレートで負けてしまいました。

・11月20日 荒川区民大会(三チームリーグ)

対ユースセブentakローズ

対荒和会

この大会は、自分たちの学年よりも下の、高校生も含めた若いチームで挑みました。大会形式は、三チームリーグで一位になれば上位に進めるというものだったのですが、経験豊富なタクローズにストレートで負けてしまい一勝一敗で次に進むことは出来ませんでした。

・4月2日 第59回春季大会二部

対バッキンズ

対排友会

この大会は、前月に卒業したばかりの梶原たちの代から自分たちの代までの若手 OB チームで臨みました。二部の大会だったのですが、出場チームが全部で三チームと少なかったのでリーグ戦でした。結果は、相手が二チームとも年輩の方中心のチームだったこともあり、自分たちのやりたいようなバレーが出来て、わりとさっぱりと二勝で一部昇格を決めました。少し物足りない感もあった大会でしたが、次回一部で頑張りたいと思います。

今年度は、前年度の下降気味だった開成クラブを再び上昇気流に乗せることができた一年だったと思います。次年度からはすべての大会に出場できますし、意欲のある若手 OB も増えてきて、世代交代も行われつつあります。次年度からは、荒川区の一部で優勝を争っていた頃の強い開成クラブに復活させ、それが途切れることのないように、OB 自身の成長と、高校生生の指導に励んでいきたいと思えます。

5. 開成高校戦績（報告：高校コーチ 浅川洋貴）

・6月12日 インハイ予選

第一試合 穎明館 25-12、25-17 で勝ち

第二試合 芦花 25-18、25-23 で勝ち

第三試合 日大桜丘 25-22、25-20 で勝ち

コーチに就任して初めての試合でした。運動会と中間試験、旅行の後でなかなか練習できずに臨んだ試合でしたが結果は初日突破。新チームは周りの学校が一個上にも関わらずカットの力が安定しており、サブカット、チャンスカットともにセッターに上がっていました。けれども、レフトの高さがないので決定力不足なのが今後の課題だと思った試合でした。

・6月19日 インハイ予選二日目

第一試合 第三商業 12-25、25-21、25-19 で勝ち

第二試合 東洋 11-25、14-25 で負け

第三商業には1セット目を簡単に負けてしまいましたが、2セット目にうちの持ち味であるブロックが良く出たのと、チャンスからの攻撃がライトとクイックでことごとく決まりレフトの決定力不足をブロックとセンター、ライトでカバーして見事に勝利しその流れのまま3セット目も勝ちました。この時点で都でベスト32でした。次の相手は東洋、都でベスト4の実力で軽く負けてしまいましたが、初めてのチームにしては出来すぎるくらいの結果で、将来性の感じる試合が出来ました。

・8月22日 高校私学大会

第一試合 ICU 高校 25-12、25-17 で勝ち

第二試合 関東第一 14-25、10-25 で負け

初戦は相手が弱く快勝。次で早くも都でベスト4にあたり軽く負けてしまいました。サブカットが上がってもレフトもセンターもライトもなかなか決められず、実力が上の相手とはいえ決め手にか

けた試合内容でした。

・10月1日 高校支部大会

第一試合 巢鴨 25-11、25-13 で勝ち

第二試合 海城 25-19、25-21 で勝ち

第三試合 都立富士 26-24、19-25、20-25 で負け

1, 2試合は問題ないのですが、3試合目は1セット目は辛くも競って勝ったのですが、2, 3セットは流れがつかめずほとんどこちらの攻撃が自滅した感じで負けてしまいました。

・11月13日 新人戦

第一試合 勝利

第二試合 敗退

結果が残ってないのですが。初日のリーグが突破できずに負けました。2試合目の相手は1セット目をうちが取ったのですが、2, 3セットとも相手に取られてしまいました。レシーブはうまくあがるのですが、センターであまり決めることができず、レフトにあげるとミスで失点といった状況が続き、連続得点ができないで流れを引き寄せられずに負けました。この試合で負けたことで春高予選への出場権がもらえないことが決まりました。そしてその後話し合いが行われ、レフトのレギュラー二人と控えのセンターが引退し、高校3年生は残り6人になりました。

・12月 五校リーグ

五チーム中三位

見に行けず結果だけを知りました。レギュラー二人抜けたこともあり、新チームとして臨んだ試合でした。

・1月29日 私学大会

第一試合 東海大菅生 11-25、12-25 で負け

第二試合 武蔵 25-10、21-25、25-22 で勝ち

都でベスト4になった東海大菅生にあたり、何も出来ずに負けました。2試合目は余裕で勝てる相手だったのですが。新チームになってさらに決定力不足が上がりレフトで決まるスパイクはほとんどなく、失点がほとんどで安定しなくなってしまいました。レフトの成長に期待しつつもレフトにはつなぎのバレーをさせブロックとラリー中のセンター、ライト攻撃で攻めなくてはならないことを痛感しました。

・4月30日 関東大会予選

第一試合 農大一高 10-25 23-25 で負け

引退試合になりました。1セット目は不甲斐なかったのですが2セット目はうちのチームのバレーはできたと思います。レフト中心のチーム相手にオープンバレーをやらせてうちのブロックでことごとくシャットし、レフトはミスを少なくチャンスにならないボールを返して、ラリー中にセンターとライトの攻撃で決める。今まで理想としていた形が出来た気がします。結果は負けたのですが、ベ

ト32の相手に競ることができました。

以上です。僕としては最後の試合を勝たせることができなくて残念です、そして途中で諦めずに最後まで続けてくれた高三の6人に拍手を送りたいと思いました。お疲れ様。

6. 開成中学戦績（報告：中学コーチ 荒田雄人）

私が中学コーチを引き受けて、本格的に練習など指導を始めたのは、運動会、中間テストも終わった6月ごろからでした。この時期、当時の中3は溝口が一人だけで、中2がメインのチームで中3に立ち向かっていかなければならない状況でしたが、それでも中2はOBや先生の評価ではポテンシャルが非常に高く、期待をよせられている代でした。そのような代をコーチすることができるのは非常に光栄でもあります、また結果を残さなければというプレッシャーも感じながらのスタートでした。

・6月26日 夏の都大会荒川区予選

第一試合 対諏訪台中 12-25 6-25

第二試合 対荒川七中 19-25 16-25

第三試合 対朝鮮中 23-25 25-16 28-26

結果：荒川区6チーム中5位

この大会が私がコーチを初めて最初の大会となりました。この日は荒川七中に勝つことを目標にしていたのですが、レシーブの乱れを修正できずに負けてしまいました。結果一勝しかできませんでした。結果一勝しかできませんでしたが、これからの課題が多く見え、非常に収穫の合った試合となりました。この日の結果で、ブロック大会への進出が決まりました。

・7月9日 夏の都大会予選第5ブロック大会

第一試合 対新田 25-20 16-25 22-25

第二試合 対諏訪台 13-25 12-25

第三試合 対蒲原 25-21 15-25 15-25

結果：4チームリーグで4位

全敗し4位のため、都大会への道は閉ざされました。第一、第三試合とも勝てる要素は十分にあったのですが、いざという場面で荒さが目立ち、惜しい所までは行ったものの敗れてしまいました。しかし、逆にこの段階でも形にはまった時の攻撃力は高く、これから詰めていけば相当強くなれると思いました。

・8月1日～6日 夏合宿

この合宿のテーマとして、1つのことを徹底してできるようになるということを意識して前半はレシーブ面、後半は攻撃面を徹底して練習しました。全体としてはみな集中していて、中1にも中2中3が積極的に教えていい雰囲気でしたが、合宿所で食中毒騒ぎがあり、風邪のような症状の中学生が何人か出てしまい、それが少し残念でした。

・ 8月16日 私学大会

第一試合 対駒場東邦 25-16 25-22

第二試合 対法政第一 16-25 22-25

結果：二回戦敗退

この大会で中三の溝口が中学を引退しました。溝口はたった1人の中3で、しかも中2から入ったためキャリア1年なのに、キャプテンとしてチームを引っばってくれました。この試合で他校も中3が引退し、学年的に同じ条件となりました。

・ 8月26日 荒川区シード権大会

第一試合 対諏訪台 14-25

第二試合 対荒川一中 25-22

第三試合 対八幡中 20-25

結果：荒川区4チーム中3位

中3が引退して最初の試合となりました。諏訪台中は新チームも非常に完成度が高く力及びみせんでしたが、負けた八幡中は勝てない相手ではなく、自分達の甘さで負けてしまいました。しかし、逆にこれから勝てる見込みも十分にあると感じました。

・ 10月22日 新人戦予選第5ブロック大会1日目

第一試合 対御徒町台東中 19-25 8-15

第二試合 対淵江中 14-25 7-25

第三試合 対加賀中 25-16 25-19

結果：4チームリーグで3位

総合で3位となり、都大会へはブロック出場校16校中9校が出られるため、最後の都大会出場枠を決める二日目へ進みました。

・ 10月29日 新人戦予選第5ブロック大会2日目（都大会出場校決定戦）

第一試合 対新田中 25-23 25-22

第二試合 対忍ヶ丘 23-25 25-22 25-18

結果：4チーム中1位、都大会出場決定

この日の一位となり、都大会出場が決定しました。中学生の都大会出場は4年ぶりで、なんとか一歩前に踏み出せました。

・ 11月13日 新人戦都大会初日

第一試合 対池袋中 24-26 21-25

結果：一回戦敗退、都ベスト64

現役にとっては初めての都大会で、みな非常に緊張していました。そのせいで足は動かず、特に負ける要素のない相手だったのですが、あっさりと負けてしまいました。しかし、その日の会場に来ていた学校を見る限り、実力的にはベスト32から16くらいはあることは間違いなく、これから期待をよせることができました。

・2月19日 6校リーグ

予選リーグ 対麻布 25-18 22-25

対芝 25-23 25-19

決勝トーナメント 対慶應 25-5 25-11

対暁星 25-15 25-20

結果：優勝

伝統の6校リーグの優勝も本当に久しぶりで、取れて嬉しかったです。決勝の暁星中は非常に強かったのですが、レシーブをよく粘ってエースが決めていました。この試合あたりから、中学生にも自信が出てきたようです。

・3月21日～25日 春合宿

春合宿では夏合宿とは異なり、みんなの基礎もできてきていて、体も大きくなってきていたため、より高度な、例えばブロックやスパイクを重点的に強化しました。また、ローテーション変更をして、新たなチーム戦術を考えました。ローテーションは変更前とどちらがいいのかと悩んだりもしましたが、中学生は新たなローテーションで頑張ってくれていて安心しました。また、この合宿にはたくさんさんの若いOBが来てくれて、より効率よい練習をすることができました。

・4月16日 麻布定期戦

対麻布 25-20 25-19

結果：勝利

麻布戦の目標は危なげなく勝つことでしたが、結果余裕を持って勝って目標はある程度達成できました。麻布に中学生が勝つのも久しぶりで、久しぶりの中高とも勝利という形になりました。

・4月23日 春の都大会荒川区予選

第一試合 対荒川一中 25-17 31-29

第二試合 対諏訪台中 9-25 18-25

第三試合 対八幡中 21-25 22-25

結果：荒川区5チーム中3位

この日は八幡中に勝つのが目標だったのですが、惜しくも敗れてしまいました。途中までリードしていたり、いいところでブロックが決まったりしていたのですが、サーブで崩されてなかなか修正できないことが多かったです。しかし、諏訪台中は新人戦でベスト4、八幡中もベスト8に入る強豪であり、その八幡中と対等に戦える力があることが分かりました。この結果で、ブロック大会への進出が決まりました。

・5月6日 春の都大会予選第5ブロック大会1日目

第一試合 対銀座中 25-18 25-12

第二試合 対足立九中 12-25 10-25

第三試合 対忍ヶ丘中 25-21 24-26 25-27

結果：4チームリーグで3位

前回と同様、二日目に都大会進出を賭ける事になってしまいました。第三試合は実力は競っていましたが、決して負ける相手ではなかったにもかかわらず惜敗してしまいました。

・5月7日 春の都大会予選第5ブロック大会2日目（都大会出場校決定戦）

第一試合 対加賀中 25-18 25-6

決勝 対御徒町台東中 15-25 25-18 25-23

結果：4チーム中1位、都大会出場決定

なんとか都大会に出場が決まりました。決勝の相手は前回一度大差で負けている相手にもかかわらず、接戦を制することができたのは大きかったと思います。またブロック9位でのギリギリの出場ですが、2大会連続出場も久しぶりなので達成できてよかったです。

7. 近況報告（敬称略）

- ・週二回会社に出社、若社員年毎をしています、田舎暮らしが身につけなかな出歩くことも少なくなりしました。(25 大瀧)
- ・地域福祉の為に頑張っています。そのことが毎日を過ごす推進力です。(30 宗近)
- ・いまだ電気工事畑でCADとか管理業務に毎日を送っています。(31 田村)
- ・今年66歳になります。やむを得ずあと2~3年理役で働くことになりそうです。(34 石束)
- ・ボランティア活動、ゴルフ、将棋、麻雀、読書、庭の手入れ等いろいろなことを少しずつやっています。(37 上田)
- ・体力の低下を感じ、何とかしなければと思いつつもバレーボールとはこの10年完全に遠ざかってしまいました。(43 金森)
- ・東京都小学生バレーボール連盟の理事長をしております。(44 片野)
- ・昨年インドネシアから帰国し、旭硝子(株)京浜工場に勤務しております。(46 大江)
- ・当方、現在ジュネーブでWHOに勤務しています。(46 田村)
- ・高校卒業以来、バレーのバの字もありません。超運動不足で高齢化まっしぐらです。(47 奥田)
- ・息子が宮先生にお世話になっています。(50 松下)
- ・年末に宮くんが監督をしている城北高校が川越東高校に練習試合にきてくれました。私が現在担任している生徒が2名もレギュラーだったので、応援も気合いがはいりました。勤務校の川越東高校バレー部は8年ぶりに6月開催の群馬での関東大会に出場します。(54 熊谷)
- ・京都に転勤しました。子供も3人、今年不惑の40を迎え、人生ぬきさしならぬところまでできてしまいました。(60 高橋)
- ・SMBCタイ支店に勤務中です。(H5 古野)
- ・昨年6月に結婚しました。(H7 岩田)
- ・日赤医療センターのNICOで働いています。(H8 矢代)
- ・ロサンゼルス生活もうすぐ一年になります。忙しいながらも充実した毎日を送っています。(H10 川原)
- ・授業もバレー部も軌道に乗ってきました。(H11 楓)
- ・4月からいすゞ自動車株式会社で働く予定です。(H13 深作)
- ・今は院の一年生でもうすぐ二年生になるところです。就職活動中ですが、おそらく自動車メーカー

ております。出来次第また連絡したいと思います。そのホームページが OB の情報交換の場として役に立つことが出来れば幸いです。

*会員名簿発行のお知らせ

今回久しぶりに名簿を発行し皆様にご送付しました。内容には正確を期すように努めました但把握、調査しきれず、年度によっては連絡先不明の方が多くなってしまいました。消息のお分かりの方がいらっしゃいましたらご連絡をお願いいたします。また、訂正、漏れ等お気づきになった点があった場合もご連絡方よろしく申し上げます。

なお、個人情報保護の観点から名簿の発行、送付の是非を総会等の場において検討しましたが、やはり会員相互の交流に資する事などから各会員に送付することとしました。幹事会においても今後、十分な注意のもとに名簿の管理、取り扱いを行います。会員の皆様におかれましてもその旨ご留意下さいますようお願いいたします。ご連絡は下記までお願いします。

関 茂和 (S54年)

または

勝井 政博 (H14年)

開成学園排球部OB会 会報25号

発行 平成18年9月

発行者 開成学園排球部OB会

作成・編集

関(54卒)、勝井(H14卒)、小林(H16卒)

浅川(H17卒)、荒田(H17卒)

OB会費卒業年次別納入状況

平成18年3月末現在

卒業年次	会員数	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24以降
昭和24年卒	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
昭和25年卒	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
昭和26年卒	5	5	5	5	5	4	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0
昭和27年卒	4	4	4	1	0	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0
昭和28年卒	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
昭和29年卒	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0
昭和30年卒	9	6	6	6	6	4	5	5	2	1	0	0	0	0	0	0
昭和31年卒	6	5	5	5	5	4	4	4	2	1	0	0	0	0	0	0
昭和32年卒	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
昭和33年卒	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
昭和34年卒	5	2	2	2	2	2	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0
昭和35年卒	6	4	5	4	4	3	3	3	3	2	2	0	0	0	0	0
昭和36年卒	10	2	2	2	2	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0
昭和37年卒	4	3	3	3	3	3	3	3	1	0	0	0	0	0	0	0
昭和38年卒	8	5	5	3	5	5	5	5	3	1	1	0	0	0	0	0
昭和39年卒	8	3	4	3	4	3	3	2	1	1	1	0	0	0	0	0
昭和40年卒	2	1	1	0	0	0	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0
昭和41年卒	4	1	2	2	2	2	2	1	1	1	1	0	0	0	0	0
昭和42年卒	2	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
昭和43年卒	12	7	6	4	5	5	5	6	4	4	4	2	1	0	0	0
昭和44年卒	3	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
昭和45年卒	8	5	6	6	6	5	6	6	4	4	4	2	0	0	0	0
昭和46年卒	12	6	6	4	3	2	3	5	3	2	2	2	0	0	0	0
昭和47年卒	11	4	3	2	2	2	2	2	1	1	1	0	0	0	0	0
昭和48年卒	4	2	3	3	3	2	2	3	3	2	2	2	1	0	0	0
昭和49年卒	19	15	16	9	13	13	12	17	12	6	3	1	0	0	0	0
昭和50年卒	7	4	3	3	4	4	4	4	1	1	1	0	0	0	0	0
昭和51年卒	3	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
昭和52年卒	7	4	4	4	3	3	3	2	2	2	0	0	0	0	0	0
昭和53年卒	10	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
昭和54年卒	8	8	7	3	3	4	4	5	6	3	2	0	0	0	0	0
昭和55年卒	12	4	5	6	5	5	5	5	2	2	2	1	0	0	0	0
昭和56年卒	6	6	5	5	4	2	4	3	1	1	1	0	0	0	0	0
昭和57年卒	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
昭和58年卒	9	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
昭和59年卒	8	2	2	3	3	3	3	3	2	1	1	0	0	0	0	0
昭和60年卒	7	5	5	2	2	2	2	2	1	1	0	0	0	0	0	0
昭和61年卒	10	4	4	4	3	3	2	3	2	1	1	1	0	0	0	0
昭和62年卒	6	3	2	2	2	2	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0
昭和63年卒	10	4	4	4	4	4	2	3	2	2	2	1	0	0	0	0
平成1年卒	6	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0
平成2年卒	12	3	2	0	0	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0

平成3年卒	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平成4年卒	8	2	3	3	3	4	5	3	3	3	1	0	0	0	0	0
平成5年卒	10	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	0	0	0	0	0
平成6年卒	14	14	4	3	2	3	4	5	4	4	4	2	1	1	1	0
平成7年卒	9	9	9	1	1	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0
平成8年卒	11	11	11	11	2	2	3	3	3	2	2	1	1	1	1	0
平成9年卒	13	13	13	13	13	4	4	4	4	4	1	0	0	0	0	0
平成10年卒	13	13	13	13	13	13	2	2	2	2	2	0	0	0	0	0
平成11年卒	9	0	9	9	9	9	9	2	2	2	2	2	0	0	0	0
平成12年卒	11	0	0	11	11	11	11	11	1	1	1	1	1	0	0	0
平成13年卒	11	0	0	0	11	11	11	11	11	0	0	0	0	0	0	0
平成14年卒	9	0	0	0	0	8	8	8	8	8	0	0	0	0	0	0
平成15年卒	12	0	0	0	0	0	7	7	7	7	7	0	0	0	0	0
平成16年卒	5		0	0	0	0	0	2	2	2	2	2	0	0	0	0
平成17年卒	3			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平成18年卒	7				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	413	199	199	172	176	169	170	171	115	81	55	20	5	2	2	0